

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	符号理論特論		
英文授業科目名	Advanced Coding Theory		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	阪田 省二郎, 山口 和彦		
居室	非常勤講師(阪田), 総合研究棟919(山口)		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>「符号理論」の主題は, 雑音の影響を不可避免的に受ける通信路を通してより正確に, かつ, より高速に情報を伝達する仕組みである「誤り訂正符号」である。 この授業では符号理論に関連するより専門的あるいは実際的な話題を選び行う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>符号理論(または情報理論第二) [学部] 何らかのプログラミング言語(C言語など)でプログラムができること</p>

【教科書等】
<p>(例) 教科書: 参考書: 授業内容の理解に役立つ参考書がある場合, 参考書も記述してください。</p>

【授業内容とその進め方】
<p>開講時に相談の上, 具体的なテーマを決めて授業を進める 例 1) LDPC符号の構成法について 2) 論文XXXの内容について 等</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

--

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

数件のレポートにより成績を定める

課題はプログラミングを含む問題を設定することがある。

【オフィスアワー：授業相談】

必須項目。

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で、学生の質問・相談に応じる時間帯等について記述してください。

(例1) 適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ることを。

(例2) 水曜日 12:00~14:00

(例3) 特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

(例)

「もの作り」にたずさわる人にとっては勿論のこと、たとえハードウェアを扱わなくてもシステムの動作原理を理解し、発展させるためには、電子回路の基本を十分理解している必要がある。授業中に一つずつしっかり理解していけば、難しい内容ではない。

【その他】

E-mailアドレス及び授業関連のURLは授業中に板書にて公開し、シラバスには載せない。

E-mailアドレスについては山口のURL <http://www.lit.ice.uec.ac.jp/yama/>を参照してもよい。